

第 13 回秋田県内企業「メインバンク」動向調査 (2024)

秋田銀行、シェア 5 割超でトップ ～地元 2 地銀でシェア 8 割超～

はじめに

人口減少や超低金利の長期化による収益環境の悪化など厳しい経営環境が続いてきた金融機関は、政策金利の引き上げなどが追い風となり収益が改善しつつある。一方で、割安な手数料や横断的な各種サービスで顧客の囲い込みを図るネット銀行が台頭してきている。また東北は、今年 1 月 1 日に青森銀行とみちのく銀行が合併し「青森みちのく銀行」が誕生、2027 年 1 月 1 日には荘内銀行と北都銀行が合併し「フィデア銀行」として誕生する予定であり、全国的にも銀行再編が活発な地域として注目されている。こうした環境下において、従来の貸し出しシェア競争から一線を画し、コロナ禍で疲弊した中小企業の経営を立て直すといった役割が地域金融機関に求められており、中小企業の「メインバンク」の選択にも影響を与える可能性がある。

帝国データバンク秋田支店では、2024 年 10 月末時点の企業概要データベース COSMOS2 (特殊法人・個人事業主含む) から、秋田県内の企業がメインバンクと認識している金融機関について抽出し集計した。

なお、秋田県内における同調査は 2024 年 1 月に次いで 13 回目。

※本調査は帝国データバンクが独自に調査・保有している企業概要データベース「COSMOS2」に収録された企業データであるため、各金融機関がメインとして認識する実数とは異なる場合がある。また、1 企業に複数のメインがあるケースでは、各企業が最上位として認識している金融機関をメインバンクとした。

調査結果 (要旨)

1. 秋田県内の企業がメインバンクとして認識している金融機関で最も多かったのは、**秋田銀行** (秋田市) の 6211 社で、シェア (構成比) は 52.85%
2. 上位 5 行までを地元金融機関が占めており、**秋田銀行**、**北都銀行** (秋田市) の上位 2 行で全体の約 8 割、上位 5 行で 9 割を超え、地元金融機関が圧倒的な強さを示す
3. 業種別でも全業種で上位 2 行を**秋田銀行**、**北都銀行**が独占。「その他産業」(農林水産等) では上位 10 行中 6 つを農協が占める
4. 売上規模別でも**秋田銀行**、**北都銀行**がすべての上位 2 行を独占。売上高「50 億円以上」ではメガバンク 3 行など県外金融機関がランクイン

1. 上位 30 行 ～上位 2 行でシェア 8 割、県外トップは 6 位のみちのく銀行

秋田県内の企業がメインバンクと認識している上位 30 行は表 1 の通り。1 位は、**秋田銀行**（秋田市）で 6211 社、シェアにして 52.85%を占め、2 位以下を 20 ポイント以上引き離れた。県内全域を網羅する店舗ネットワークと多くの取引先を有する同行の県内における強さを示した。

2 位は、**北都銀行**（秋田市、3460 社、同 29.44%）となった。上位 2 行のシェア合計は全体の約 8 割となり、地元 2 行の強さが裏付けられた。

3 位は、**羽後信金**（由利本荘市、563 社、同 4.79%）、4 位は、**秋田信金**（秋田市、366 社、同 3.11%）、5 位は、**秋田県信組**（秋田市、266 社、同 2.26%）となり、上位 5 行までを地元金融機関が占め、シェア合計は約 9 割となった。また、県外に本店を置く金融機関では、6 位に**みちのく銀行**（青森市）、メガバンクでは 11 位に**みずほ銀行**（東京都）が入ったが、いずれもシェアは 1% 未満。上位 10 行は前年と同じ顔ぶれであった。

表 1 秋田県メインバンク社数 上位 30 行

2024年						2023年				
順位	取引銀行名	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比	順位	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	秋田	6,211	+9	52.85%	▲ 0.01	1	6,202	▲ 36	52.86%	+0.11
2	北都	3,460	▲ 53	29.44%	▲ 0.50	2	3,513	▲ 32	29.94%	▲ 0.04
3	羽後信金	563	▲ 14	4.79%	▲ 0.13	3	577	▲ 7	4.92%	▲ 0.02
4	秋田信金	366	▲ 9	3.11%	▲ 0.09	4	375	▲ 5	3.20%	▲ 0.01
5	秋田県信組	266	+9	2.26%	+0.07	5	257	▲ 3	2.19%	▲ 0.01
6	みちのく	92	▲ 6	0.78%	▲ 0.06	6	98	▲ 1	0.84%	±0.00
7	北日本	51	▲ 3	0.43%	▲ 0.03	7	54	▲ 3	0.46%	▲ 0.02
8	東北	43	±0	0.37%	±0.00	8	43	+1	0.37%	+0.01
9	きらやか	42	+1	0.36%	+0.01	9	41	±0	0.35%	±0.00
10	秋田おぼこ農協	41	±0	0.35%	±0.00	9	41	+1	0.35%	+0.01
11	みずほ	38	+2	0.32%	+0.01	11	36	▲ 2	0.31%	▲ 0.01
12	秋田なまはげ農協	31	±0	0.26%	±0.00	12	31	±0	0.26%	±0.00
13	秋田ふるさと農協	30	+2	0.26%	+0.02	13	28	+1	0.24%	+0.01
14	青森	26	▲ 1	0.22%	▲ 0.01	14	27	±0	0.23%	±0.00
15	商工中金	24	▲ 1	0.20%	▲ 0.01	15	25	±0	0.21%	±0.00
16	こまち農協	23	+2	0.20%	+0.02	18	21	±0	0.18%	±0.00
16	秋田しんせい農協	23	+1	0.20%	+0.01	16	22	±0	0.19%	±0.00
18	秋田たかのす農協	21	+1	0.18%	+0.01	20	20	±0	0.17%	±0.00
18	山形	21	▲ 1	0.18%	▲ 0.01	16	22	▲ 2	0.19%	▲ 0.01
20	農林中金	20	▲ 1	0.17%	▲ 0.01	18	21	▲ 1	0.18%	▲ 0.01
20	七十七	20	+2	0.17%	+0.02	21	18	+1	0.15%	+0.01
22	ゆうちょ	18	+3	0.15%	+0.02	22	15	▲ 2	0.13%	▲ 0.01
23	三菱UFJ	15	+1	0.13%	+0.01	23	14	▲ 1	0.12%	▲ 0.01
24	かつの農協	12	+1	0.10%	+0.01	26	11	+1	0.09%	+0.01
24	三井住友	12	±0	0.10%	±0.00	24	12	+1	0.10%	+0.01
26	大湯村農協	11	±0	0.09%	±0.00	26	11	±0	0.09%	±0.00
26	秋田やまもと農協	11	+1	0.09%	±0.00	28	10	±0	0.09%	+0.01
26	あきた白神農協	11	▲ 1	0.09%	▲ 0.01	24	12	+1	0.10%	+0.01
29	あきた湖東農協	9	▲ 1	0.08%	▲ 0.01	28	10	±0	0.09%	+0.01
29	あきた北農協	9	±0	0.08%	±0.00	30	9	±0	0.08%	±0.00

2. 業種別 ～全産業で秋田銀行・北都銀行の順、「その他産業」では農協が上位に

業種別の上位行は表 2 の通り。全業種とも 1 位が**秋田銀行**で 2 位以下を大きく引き離しており、特に「卸売業」では約 6 割を占めている。2 位は全業種とも**北都銀行**となり、2 行の強さが目立つ。「その他産業」（農林水産・鉱業など）では、上位に農協が並んでいる。

表 2（業種別）

建設業					製造業				
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	秋田	1,917	52.46%	+0.66	1	秋田	671	55.59%	+0.93
2	北都	1,149	31.44%	▲ 0.42	2	北都	337	27.92%	▲ 0.47
3	羽後信金	222	6.08%	▲ 0.03	3	羽後信金	58	4.81%	▲ 0.22
4	秋田信金	156	4.27%	▲ 0.03	4	秋田県信組	37	3.07%	+0.07
5	秋田県信組	74	2.03%	±0.00	5	秋田信金	18	1.49%	▲ 0.21
6	みちのく	33	0.90%	▲ 0.02	6	みずほ	12	0.99%	+0.10
7	きらやか	18	0.49%	+0.03	7	三菱UFJ	11	0.91%	+0.10
8	東北	15	0.41%	+0.03	8	みちのく	8	0.66%	▲ 0.15
9	北日本	12	0.33%	▲ 0.02	9	商工中金	7	0.58%	▲ 0.23
10	青森	8	0.22%	±0.00	9	北日本	7	0.58%	▲ 0.07

卸売業					小売業				
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	秋田	606	60.90%	+0.02	1	秋田	914	51.29%	+0.49
2	北都	273	27.44%	+0.26	2	北都	560	31.43%	▲ 0.57
3	羽後信金	38	3.82%	▲ 0.09	3	羽後信金	115	6.45%	+0.02
4	秋田信金	24	2.41%	▲ 0.20	4	秋田信金	75	4.21%	▲ 0.13
5	秋田県信組	10	1.01%	▲ 0.09	5	秋田県信組	46	2.58%	+0.27
6	みちのく	9	0.90%	±0.00	6	みちのく	12	0.67%	▲ 0.04
7	七十七	7	0.70%	+0.20	7	北日本	11	0.62%	▲ 0.04
8	山形	5	0.50%	±0.00	8	きらやか	8	0.45%	+0.07
9	北日本	4	0.40%	±0.00	9	東北	6	0.34%	▲ 0.04
9	東北	4	0.40%	±0.00	10	みずほ	5	0.28%	+0.01

運輸・通信業					サービス業				
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	秋田	173	51.64%	▲ 0.35	1	秋田	1,525	53.98%	▲ 1.69
2	北都	104	31.04%	+0.15	2	北都	809	28.64%	▲ 0.93
3	羽後信金	14	4.18%	+0.20	3	羽後信金	86	3.04%	▲ 0.25
4	秋田県信組	13	3.88%	+0.52	4	秋田信金	62	2.19%	▲ 0.10
5	秋田信金	10	2.99%	+0.54	5	秋田県信組	53	1.88%	±0.00
6	青森	3	0.90%	▲ 0.02	6	みちのく	19	0.67%	▲ 0.03
7	秋田おばこ農協	2	0.60%	▲ 0.01	7	農林中金	18	0.64%	▲ 0.02
7	商工中金	2	0.60%	▲ 0.01	8	ゆうちょ	13	0.46%	+0.09
7	きらやか	2	0.60%	▲ 0.62	9	北日本	11	0.39%	+0.02
7	東北	2	0.60%	▲ 0.01	10	商工中金	10	0.35%	▲ 0.02

不動産業					その他産業				
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	秋田	220	49.66%	±0.00	1	秋田	185	36.13%	▲ 0.04
2	北都	133	30.02%	▲ 0.14	2	北都	95	18.55%	▲ 0.42
3	秋田県信組	20	4.51%	+0.20	3	秋田おばこ農協	34	6.64%	▲ 0.28
4	羽後信金	18	4.06%	▲ 0.02	4	秋田ふるさと農協	20	3.91%	+0.16
5	秋田信金	16	3.61%	+0.21	5	秋田なまはげ農協	14	2.73%	▲ 0.04
6	みちのく	7	1.58%	▲ 0.01	5	秋田たかのす農協	14	2.73%	+0.16
7	北日本	5	1.13%	▲ 0.23	7	秋田県信組	13	2.54%	+0.37
8	東北	4	0.90%	▲ 0.01	8	こまち農協	12	2.34%	▲ 0.03
9	秋田なまはげ農協	3	0.68%	±0.00	8	秋田しんせい農協	12	2.34%	▲ 0.03
9	山形	3	0.68%	±0.00	8	羽後信金	12	2.34%	▲ 0.23

3. 売上規模別 ～トップ2 は地元地銀2行、「50 億円以上」は県外金融機関が上位

融資先の売上規模別の上位行は表3の通り。**秋田銀行**が全ての売上規模別で2位以下を引き離してトップのシェアを確保。2位も同様に**北都銀行**となり、地元上位2行が圧倒的な強さを示している。「50 億円以上」ではメガバンクなど、県外の金融機関が上位にランクインしている。

表3 (売上規模別)

売上高5000万円未満					売上高5000万円～1億円未満				
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	秋田	2,569	50.89%	+0.06	1	秋田	1,003	50.18%	▲ 0.95
2	北都	1,515	30.01%	▲ 0.02	2	北都	627	31.37%	▲ 0.35
3	羽後信金	301	5.96%	▲ 0.27	3	羽後信金	112	5.60%	+0.40
4	秋田信金	201	3.98%	▲ 0.11	4	秋田県信組	58	2.90%	+0.25
5	秋田県信組	118	2.34%	▲ 0.01	5	秋田信金	55	2.75%	▲ 0.25
6	みちのく	40	0.79%	+0.01	6	みちのく	21	1.05%	▲ 0.25
7	秋田おばこ農協	24	0.48%	+0.01	7	秋田おばこ農協	12	0.60%	+0.05
8	北日本	23	0.46%	+0.01	8	北日本	10	0.50%	±0.00
9	きらやか	16	0.32%	+0.03	9	東北	8	0.40%	±0.00
9	東北	16	0.32%	▲ 0.03	10	こまち農協	5	0.25%	+0.15

売上高1～5億円未満

順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	秋田	1,853	56.32%	+0.44
2	北都	944	28.69%	▲ 1.20
3	羽後信金	126	3.83%	▲ 0.23
4	秋田信金	84	2.55%	+0.02
5	秋田県信組	72	2.19%	+0.01
6	みちのく	25	0.76%	▲ 0.02
7	北日本	15	0.46%	▲ 0.13
8	きらやか	13	0.40%	+0.03
8	東北	13	0.40%	+0.03
10	秋田ふるさと農協	10	0.30%	▲ 0.01

売上高5～10億円未満

順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	秋田	358	59.08%	+0.08
2	北都	169	27.89%	▲ 0.61
3	秋田信金	15	2.48%	+0.31
4	秋田県信組	12	1.98%	+0.48
4	羽後信金	12	1.98%	▲ 0.02
6	商工中金	5	0.83%	±0.00
7	三井住友	4	0.66%	+0.16
8	七十七	3	0.50%	▲ 0.17
8	みちのく	3	0.50%	+0.17
8	三菱UFJ	3	0.50%	±0.00

売上高10～50億円未満

順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	秋田	331	54.89%	▲ 0.31
2	北都	175	29.02%	+1.17
3	農林中金	10	1.66%	▲ 0.02
3	みずほ	10	1.66%	+0.32
5	秋田信金	8	1.33%	▲ 0.18
6	羽後信金	7	1.16%	▲ 0.01
6	七十七	7	1.16%	▲ 0.01
8	きらやか	5	0.83%	▲ 0.01
9	秋田県信組	4	0.66%	+0.16
9	商工中金	4	0.66%	▲ 0.01

売上高50億円以上

順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	秋田	58	45.67%	▲ 2.23
2	北都	21	16.54%	+1.41
3	農林中金	7	5.51%	▲ 0.37
4	三菱UFJ	4	3.15%	+1.47
5	みずほ	3	2.36%	▲ 0.16
6	羽後信金	2	1.57%	▲ 0.11
6	三井住友	2	1.57%	▲ 0.11
8	秋田おばこ農協	1	0.79%	+0.79
8	秋田しんせい農協	1	0.79%	▲ 0.05
8	秋田なまはげ農協	1	0.79%	▲ 0.05

4. まとめ ～秋田銀行シェア 5 割、上位 30 行前年比横ばい

秋田銀行はシェア 5 割を超えて、引き続き圧倒的な存在感を示している。2 位も北都銀行が約 3 割を占め、地元地銀 2 行のシェア合計は約 8 割となり、業種別、売上規模別ともに上位 2 位を独占した。また、上位 5 行までを地元金融機関が占め、9 割以上のシェアを確保し、地元金融機関の強さが際立つ結果となった。

日本銀行が昨年 3 月に政策金利の引き上げを表明して以降、金融機関では企業の借り換え局面などで利上げの交渉を進める動きが活発化するなど、長期にわたって続いた低金利・ゼロ金利の経営環境から「金利のある世界」への移行が進んでいる。取引金融機関別にみると、全国的には金利上昇の影響を受けた企業は「メガバンク」との取引で最も大きく、「地方銀行」が最も小さいなど、取引行によって動向には若干のばらつきも見られた。今後、金利の上昇で利払い負担が増加し、金融機関に支援を求める中小企業が増えてくることが想定されるなか、貸出金利の引き上げ動向が企業における今後のメインバンク選択に影響を与える可能性がある。

金融機関は、コロナ禍をしのぐために借り入れた債務負担が重い中小企業に対して、事業再生を支援する役割が強く求められるようになった。足元では、再生支援を担う部署や新会社の設立などで事業再生ビジネスに本格的に参入する金融機関も相次ぐ。こうした局面では、地域の中小企業に特に密着した＝「小回りの利く」融資や、経営問題を解決まで導く支援ノウハウ、企業の事業価値を適切に把握する「目利き力」が欠かせない。他方で、長期にわたる低金利での貸し出し競争が常態化してきたことや、中小企業金融円滑化法の施行をはじめ、各種の手厚い金融支援を背景に「借り手＝企業側」に優位な状況が続いてきたことで、貸し出しの現場における融資規律の緩みや「目利き力」の低下といった問題が指摘されている。売り上げの架空計上など決算書の改ざんが発覚した企業の経営破たん、「粉飾倒産」（負債額 1000 万円以上、法的整理）は、2024 年 1－9 月で過去最多ペースとなる 74 件（全国）が判明した。取引の信頼関係を損なう、悪質な行為を行った借り手側に厳しく責任が問われるべきはいうまでもないものの、一方で長期にわたり行われてきた不正を貸し手側で見破ることが困難な事例も目立っている。

多くの金融機関に対しては、相次ぐ地銀の再編や拠点の統廃合、人員など組織のスリム化を背景に「地元の中小零細企業にきめ細かな対応ができるのか」という懸念もある。このほか、低コストでの送金や口座維持手数料の無料化など、利便性の高い決済機能を強みに攻勢をかけるネット銀行が店舗型金融機関に代わる新たな受け皿として存在感を高めつつある。融資先企業のニーズに沿った金融・経営支援をどう展開できるのか、メインバンクとして支援する店舗型金融機関の手腕が注目される。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 秋田支店 担当：西 幸一郎

TEL 018-833-4202 FAX 018--835-6823

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。